

かめおか 市議会だより



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2026年(令和8年)1月31日

わがまちトーク 開催重ねさらなる進化



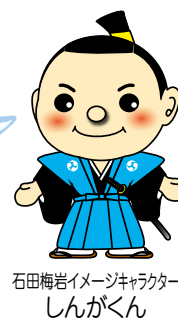
委員会でも否決
市長は撤回
物価高騰対策など補正予算可決

「企業立地促進条例の廃止議案」
廃止理由の丁寧な説明を要求

かめおか応援クーポン配布、子育て応援手当、水道基本料金の免除



かめまるくんと しんがくんの 議会とーく

市民の暮らしや経済活動を応援する
補正予算や条例が決まったよ否決・修正・指摘要望
市民目線で厳しく審査したよ今年の「わがまちトーク」
はどうだったの？ところで12月議会ではど
んなことが話し合われ
て、何が決まったの？否決された議案もあったっ
て聞いたよ。回を重ねるごとに進化
した手法で充実した場づ
くりができ、今年も好評
だったよ。広聴部会では
1年間の活動を振り返っ
て、良いものは残しなが
らさらなる前進を目指そ
うとしているよ！

「4・5ページへ」

市民に必要な事業を行
うための補正予算や条例
がいくつかが決まったよ。
議会からも「ハラスメン
ト防止条例」や「議員報
酬に関する条例」を出し
て審議したよ。なかには
賛否が分かれるものも
あったよ。

「3・6・7ページへ」

今回出された「企業立地促
進条例の廃止」議案は説明が
不十分として10年ぶりに委員
会で否決され、議案が撤回さ
れたんだ。いろんな条例や補
正予算など、情報が正確じゃ
ないと議会も説明責任を果た
せないからね。全議員が市民
の視点に立って、厳しく
チェックしているよ。

「3ページへ」

はつきりモノ言う市議会

不十分・不明瞭なものは認めない

「市民福祉の増進に

寄与するか？」

「効果や今後の

見通しは明瞭か？」

議会は慎重に審査し、市民目線ではつきりモノを言う姿勢を貫きます。12月議会では、これらの観点に基づき、委員会で議案一件を否決しました。これは10年ぶりのことです。また、別の議案では、反対意見や修正案が出され、賛成した議員からも厳しい指摘や要望が出されました。議案審査の様子を、産業建設常任委員会の審査からピックアップして紹介します。

なぜ否決に？

市の主張

◇制定から約40年を経て、本市では奨励金を出さなくても企業が集まってくるようになっており、この条例は役割を果たした。

議会（委員会）の主張

◆土地を手放す地元地権者に何も説明がされていないのは手順が前後しているのではないか。

◆廃止するより、拡充する改定案を出すべき。

◆新たな施策とセットで提案すべき。

◎これらを質疑したが、明確な答弁が得られなかったため、採決では委員全員が反対。

↑市長は、企業誘致に関するニーズ等について再度精査するとして議案を撤回しました。

反対者・賛成者に共通の思いも

「賛否が分かれた議案」

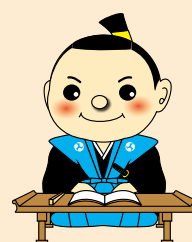
「一般会計補正予算のうち、観光推進経費の用地取得に係る増額補正」

反対議員の主張

◆京都銀行亀岡支店跡地を市が取得する意義と活用方法が不透明で拙速に補正予算で買すべきものではない。
削除する修正案を出す。

賛成議員からも指摘

◇市場調査が不十分なので需要と供給の調査を徹底すること。地元の要望を汲み取って、今後のまちづくりにも寄与するものに。



産業建設常任委員会の審査より



議案一件を否決

可決議案にも指摘

否決した議案とは？

【企業立地促進条例の廃止】

廃止しようとした条例は、企業を誘致するために、立地奨励金（固定資産税に相当する金額）や雇用奨励金（市内従業員の雇入れに対する）を交付することを定めたもので、これを廃止しようとする議案です。

12月議会で可決した主な議案とその内容

【一般会計補正予算】（総額35億8820万円）

- 商工業振興対策経費（4億9280万円 市民一人当たり5,000円分のクーポン配布）
- 子育て応援手当支給経費（2億8700万円 子ども一人あたり2万円を支援）

【水道事業会計補正予算と一般会計からの繰り出し】（238万円+1億5300万円）

- 水道基本料金の免除（令和8年度1,2期分（4か月間）の基本料金免除）

広報広聴会議の広聴部会で、この1年間の広聴活動をふり返りました。「さらに開かれた議会を市民に身近に感じていただく機会とし、市民の意見を把握し、議会活動に反映させる」という目的にそって、大きくは以下の3つに取り組みました。

広聴活動のページ

1年の活動を ふり返る



今年は4団体と行いました。テーマに沿い、付箋を用いたワークショップ形式で

書く 話す・聴く 見る 思う・考える

の順に進めました。開催を重ねるごとに、議員のファシリテーション(場を盛り上げ、舵取りをする支援の技術)も進化・充実しました。

街頭インタビュー



5月18日(日)
JR亀岡駅周辺にて実施
市民63名にインタビュー
「議会モニター制度」と
「わがまちトーク」の認知
度をシール投票で調査し
て対話

夏休み子ども議場見学会



8月9日(土)
小学生14名参加
・議会たんけん
・議場登壇体験
・市議会クイズ
・議員に質問 など

わがまちトーク

11月5日
トーキョーコーヒー亀岡・Jun wa



・意見交換だけに終わらず、1つでも
実現すれば嬉しいです

トークテーマ
・亀岡市民から見る環境問題や
環境政策について

10月15日
かめたんレザミtetote



・こんな会をもっと増やしてほしい
・「パパ友」も子育てには必要ですよ

トークテーマ
・ママが思う子育ての
「じいなのあったらいいな」

11月10日
令和8年亀岡市はたちの会実行委員会



・議員がフレンドリーで充実した時間でした
・もう少し時間を!

トークテーマ
・30年後の亀岡
これからの亀岡に残したいもの

11月7日
旭町自治会



・定期的に開催していただきたい
・他の地区でもやるとよいのでは

トークテーマ
・旭町の将来像について
・わがまち、ええとこ再発見!
旭町にこれがほしい

一年間をふり返って

それぞれの取組について、様々な手段で広報したこともあって、今年は、子どもたちや若い世代の積極的な参加が多かったです。シール投票や付箋を用いたワークショップなどの手法や工夫は、自分の考えや思いを表現することへのハードルを低くする役割を果たしました。参加者からも、雰囲気良く話しやすかった、議会や議員のことがよくわかったなどの感想が寄せられています。取組の途中でも、もっとよくするために改善しようと努力したことも効果を生み出すことにつながりました。

一方で、議会や議員の活動について知らない人や関心がない人が、まだまだ多いと痛感しました。多くの市民に知ってもらいたいことがなければ、議会に声を届けようという市民は増えません。今後も広報活動との連携を密にして、広報と広聴の活動が一体化して進むように努力してまいります。

この一年の取組の良さを継続するとともに、SNSを活用した広聴活動など、新たな手法や取組も検討してまいります。

大西 陽春 議員

・事前打ち合わせもしっかり行い、うまく実施できた。
・参加者に合わせた工夫もできた。
・意見が引き出しやすい活動ができた。

林 徹司 議員(広聴部会長)

・SNSを活用した広聴活動を。
・幅広い世代の多様な声を集め、意見交換できる機会を設定したい。
・自治会やはたちの会実行委員会とのわがまちトークは継続を。

木村 勲 議員(委員長)

・議員が出向き、幅広い意見を聴くことで理解を深められる。
・中学生・高校生の声を聴く機会を検討する。

大塚 建彦 議員

・議会や議員の役割を知ってもらうことが大事。
・広聴活動の内容は年々充実していると感じる。
・計画的に準備も整え実施できた。

山木 裕也 議員

・多くの活動が継続できてよかった。
・参加の広がりをつくるのが今後の課題。
・市民の声を反映させる場をつくることを検討する必要があるのでは。



開催を重ねるたびに進化を

◆「書く」作業のあと、参加者に付箋に書かれた内容ごとに仲間分けしてまとめる作業をしてもらうことで、自他の考えが整理できるようになりました。一方で「思う・考える」の時間が十分に取れなくて、これからどうしていけばいいのかが共有することが不十分でした。

◆今後は、広聴部会の議員だけでなく、全ての議員がファシリテーターや全体進行役となれるように役割分担やオプザーバー参加の在り方なども考えていきます。

◆先進的な自治体では「ワールドカフェスタイル」(小グループのメンバーを一定時間で交代して、カフェのように気軽に話す方式)が主流となっているため、それらも取り入れられたらいいですね。

◆出された意見が実現できるよう、議会としても努力することは大事ですが、なによりも主眼は、取組をとおして、まちづくりの主体者としての意識を参加者を持つていただくこと、議会や議員の活動に関心を持つて議会を活用いただけるようにすることです。将来、まちづくりの主役になる人や、議員をやってみようと思う人がたくさん生まれるといいですね。

修正案

発議者	件名
大西 陽春 議員、片山 輝夫 議員、三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算（第4号）修正案

※修正案に対する提出者の説明内容は
こちらをご覧ください。



本会議での討論

議員名	件名	賛成 / 反対	議員名	件名	賛成 / 反対
大西 陽春 議員	亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	反対	三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算（第4号）	反対
三上 泉 議員	令和7年度一般会計補正予算（第4号）修正案	賛成	松山 雅行 議員	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	反対

※討論の内容はこちらを
ご覧ください



全員賛成で可決した議案


各議案の内容は、亀岡市ホームページに
掲載しています。詳しくはこちら ➡



付託先	件名	議員名	件名
総務文教常任	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例等の一部改正	環境市民 厚生常任	財産の取得
	亀岡市一般職員の給与に関する条例の一部改正		損害賠償額の決定
	亀岡市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正		令和7年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）
	かめおか防災広場設置条例の制定		令和7年度亀岡市水道事業会計補正予算（第1号）
環境市民厚生常任	亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正	産業建設常任	令和7年度亀岡市下水道事業会計補正予算（第2号）
	令和7年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		亀岡市自然環境を重視した食と農のまちづくり条例の制定
	令和7年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		亀岡市水道事業給水条例及び亀岡市下水道条例の一部改正
	令和7年度亀岡市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）		川の駅・亀岡水辺公園に係る指定管理者の指定
	令和7年度亀岡市病院事業会計補正予算（第2号）		令和7年度亀岡市一般会計補正予算（第5号）
	亀岡市立保育所条例及び亀岡市立認定こども園条例の一部改正		令和7年度亀岡市水道事業会計補正予算（第2号）
	亀岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正	付託省略	亀岡市議会ハラスメント防止条例の制定
			議員の派遣

賛否の分かれた議案

○賛成
×反対、態度保留など



各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。

賛否の分かれた議案

○賛成

×反対、態度保留など

付託先	件名・結果	会派名	新清流会						経政会				躍動〜輪の風〜				亀岡有志の会			共産党議員団		公明党議員団		
		議員名	法貴隆司	小林 仁	大石 慶明	福井 英昭	菱田 光紀	西口 純生	大塚 建彦	浅田 晴彦	平本 英久	齊藤 一義	竹内 博士	梅本 靖博	土岐 新	松山 雅行	原野美生子	山木 裕也	木村 勲	大西 陽春	片山 輝夫	三上 泉	林 徹司	富谷 加都子
修正案	令和7年度一般会計補正予算 (第4号)	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
総務文教 環境市民厚生 産業建設	令和7年度一般会計補正予算 (第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
環境市民厚生	亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議 1	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

各議案の内容は、
亀岡市ホームページに
掲載しているよ。



※小川克己議員は、議長職のため表決権はありません。

総務文教常任委員会

○ガレリアの防犯カメラ等を更新

一般会計補正予算
（第4号）可決
（全員賛成）

生涯学習推進経費

1010万円

ガレリアかめおかの防犯カメラ設備は経年劣化による故障や不具合が発生しており、部品の供給期間終了等に

○学校に外国語指導助手を増員

外国語指導助手派遣

業務委託経費債務負担行為3630万円
（4年間）

国際理解教育の充実を図るため、外国語指導助手（ALT）を来年度から15名体制に拡大して小・中・義務教育学校に派遣する。

【主な質疑】

問 来年4月の任用に向けた準備計画は。

答 任用支援・管理業務契約を締結した後、人材を確保し入国手続や生活準備を経て、4月1日付で会計年度任用職員として任用する。

問 住まいの確保はできるのか。

答 業務委託契約において、受託者が住まいの確保と日常生活の補助も担うことになる。

問 配置の学校間格差があるがどのようにするののか。

答 あくまで先行実施とし、その実績を踏まえて今後の派遣を考えていきたい。

環境市民厚生常任委員会

○こども誰でも通園制度がスタート

亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
可決（賛成多数）

0歳6か月から満3歳未満の保育施設等に

通園していないこどもを対象に、月10時間の範囲内で保護者の就労の有無にかかわらず、保育所（園）等を利用できる「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」が令和8年4月1日から実施予定である。事業の実施にあたり、国の認可基準に基づき、本市でも設備や運営に関する基準を定めるもの。

【主な質疑】

問 実施に向けて事業者への周知状況は。

答 本年9月下旬に民間保育園等を対象に説明会を実施し、来年度からの実施意向を確認した。

問 本市は「一般型」と「余裕活用型」、どちらの方法で実施するのか。

答 実施園が選択する。

問 想定よりもニーズが増えた場合の対応は。

答 市独自で行っている就職奨励金や奨学金返還支援制度を周知し、各園の保育士確保を支援していきたい。

問 「市町村長が行う研修を修了した者」は、保育士と同等の扱いとなるのか。

答 基本的には保育士を配置する必要があるが、職員数の残りの半数については、「市町村長が行う研修を修了した者」を配置できる扱いである。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算（第4号）可決（賛成多数）

○城下町のにぎわい創出に向けて観光推進経費

4470万円増

本市の城下町としての歴史的資源を活かし、観光振興及び地域経済の活性化を図るため、観光情報発信・観光文化施設を整備するための経費を増額。

【主な質疑】

問 市が用地を取得する理由は。

答 亀岡銀行発祥の地で歴史的価値の高い土地であることから、乱開発を防ぐことと併せて観光・文化振興に寄与するためである。

問 観光文化に限らず、幅広く活用案を持つ考えは。

答 地域に根差した活力ある施設とするなど今後検討していく。

○市民生活支援と地域経済活性化

商工業振興対策経費

4億9280万円増

水道事業費用

238万8千円増

第8弾かめおか応援クーポン事業及び水道基本料金2期分免除に係るシステム改修経費等を増額する。

問 クーポンの利用期間の設定根拠は。

答 事業所との調整とこれまでの実績を考慮して決定した。

問 検針票に減額理由を記載する予定は。

答 検討中であるが、記載できない場合は印刷物で通知する。



12月議会では、22人の議員が一般質問(*)を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。(文責は各議員にあります。)なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

(※) 一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行いません。

傍聴のご案内

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

○本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

○亀岡市議会では、必要に応じて手話通訳などに対応しています。(※事前申し込みが必要)手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。

○発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。

※インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧いただけます。

亀岡市議会 議会中継

検索

※議員の写真右下部を読み取ると、その議員の動画と会議録を見ることができます。

重点支援地方交付金を本市において、どのように活用するのか！



法貴隆司 議員

法貴 国では責任ある積極財政の考えの下、大型経済対策が打ち出された。物価高対策や起業支援、防衛力強化を掲げ、重点支援地方交付金

が盛り込まれ、おこめ券やプレミアム商品券、水道料金の減免、子育て支援給付などの事業メニューが示されている。本市では、国の経済対策をどのように活用し、市民生活の支援につなげていくのか。

市長 国の方針を踏まえ、市民生活を支援し、地域経済振興策として、食料品の購入・支援を含むク

市長 国の方針を踏まえ、市民生活を支援し、地域経済振興策として、食料品の購入・支援を含むク

法貴 おこめ券の配布は検討しているか。

市長 亀岡市は国に先駆けて高齢者お米購入応援クーポンを配布した。今回は、おこめ券ではなく、従前から本市で行っている、かめおか応援クーポンという形で、市民一人一人に給付していきたい。

法貴 物価高騰対策として、迅速な対応で、手厚い支援を実施いただきたい。

高齢者への福祉や支援の充実を求める！



平本英久 議員

平本 本市は昭和57年3月29日に福祉都市宣言を行い、市民福祉の増進に積極的に取り組んできた。本市の福祉の在り方や、これまでから要望が強かった加齢性難聴を補う補聴器の

頻発する震災に備えた強いまちづくりを急げ！

平本 南海トラフ地震などの災害に備え、断水時に使用できる井戸の把握と活用体制はどうか。

総務部長 井戸の把握と災害時の活用について、調査を実施したところ、現時点

で110件の回答があり、うち105件の井戸所有者から、災害時の井戸活用について、同意を得ている。防災井戸マップの作製、公表などをされている他市の事例を参考に本市での活用方法を検討したい。

就学時の支援は、経済負担軽減と制服リユースの両面から



梅本靖博 議員

梅本 入学準備費の軽減に向けて国の交付金を活用し、市の財政負担を抑えて支援拡充が可能では。

梅本 サークユーにかめおかラボの枠組みに制服リユースを組み込めないか。

こども未来部長 中

市民の利用実態に合わせた、ごみ袋の仕様の見直しが必要ではないか

梅本 ごみ袋の仕様と利用実態との乖離についての認識は。

環境先進都市推進部長 資源、エネルギー化を進める段階でサイズ変更などを検討する。

梅本 ごみ袋のサイ

有害鳥獣被害に対し、行政や猟友会、農家、地域の連携強化を



原野実生子 議員

原野 被害における本市の課題は。

市長 有害鳥獣駆除を担う猟友会の高齢化や担い手不足、後継者の育成・確保などである。

原野 国の鳥獣被害防止総合対策交付金の活用・拡大を提案する。①個体数の減少に向けてICT機器を活用する考えは。また、駆除と侵入防止の両面から、ほ場を防止柵で覆い、箱わな設置など、地域一体で行うべきでは。②制度周知を含めて、有害鳥獣被害に関して、農

家の方、猟友会、行政で問題の共有や意見交流の場を設けては。

市長 ①維持管理方法の面からも慎重に判断する必要があり、状況に応じて考えていきたい。3人1組で申請すれば有害鳥獣の柵費用の補助金が支給される。箱わな活用については課題点もあるため、地域でくくりわなに取り組むほうが有用であり、関連する様々な補助もある。②連携して鳥獣対策に対する議論をするのは大変有用である。国や府の補助金も活用しながら、本市も農作物被害に対して制度の応援をしていきたい。

原野 前向きな答弁を得られたと考える。

高市首相の「台湾有事」や「非核三原則の見直し」発言への見解を問う



片山輝夫 議員

片山 高市首相の国会答弁に対して、市民から不安の声が寄せられているが、①「台湾有事」②「非核三原則の見直し」発言について市長の見解は。

持続可能な農業には、米の所得補償・価格補償が不可欠である！

片山 米の適正価格について、資料のとおり検討した。再生産が可能な制度を市独自でも事業を創設する考えはないか。

産業観光部長 生産費と買取り価格の差を補填する所得補償も対応策の1つだと考えるが、本市単独

主食の適正価格私案

2025.11.28 片山氏案

米価格	買取り価格	生産者価格	生産者価格
4000円/5kg	15,000円	9,000円	生産者価格
3500円/5kg	12,000円	9,000円	生産者価格
米市況価格	1,300円		亀岡市全域
生産量	6,500t	(500kg/10a)	
出荷数量	4,650t	(6,500t×0.7)	
所得補償額	455,000千円	(3,000円/30kg)	
買取り交付金	221,854千円	中山間 41,922千円	
適正価格	233,146千円	多摩川 179,932千円	

(資料) 主食の適正価格 私案

顕在化していない児童虐待やヤングケアラーを見つけ、支援するには？



議員 伊和 徹

林 重層的支援とあるが、全ての子どもたちを誰一人取り残さないため、これまで以上の支援連携体制の構築が必要では。

こども未来部長 児童虐待通告受理件数

学校部活動や教育・福祉・防災はこれまで以上に地域が要に！

林 学校部活動の地域展開では、学校や福祉、防災など地域や自治会との連携が重要となる。NPO法人化している自治会もあるが見解は。

市長 自治会は地域コミュニティ推進に

仕事・生活・子育てが融合するまちを



議員 小林 仁

小林 閉校した西部地区3小学校の利活用の基本方針とタイムラインは。

市長 今年度中に教育財産から普通財産に移管し、来年度に具体的に検討する組織を立ち上げ、検討

そこに行きたい学校がある

小林 通学区域外から育親学園への就学が一部特例施行により可能となったが、保護者の送迎負担が大きく諦めざるを得ない。公共交通機関のバスダイヤの構築やスクールバス運行の検討はできないか。

ALT(外国語指導助手)の有効活用



議員 齊藤 一義

齊藤 中学校において、「英語を学ぶのではなく、英語で学ぶ」を基軸とした特認校を選択できる制度を導入する考えは。

ガレリアかめおか子ども図書館のリニューアルを提案

齊藤 「泣いてもいい子ども図書館」に取り組んで、「ガレリアかめおかあそびの森」と子育て支援の相乗効果が図れる環境を整えてはどうかと考えるが市長の考えは。

市長 ガレリアの図書館リニューアルにあたり、家族連れの

イベント増加 目的は？検証は？「やるだけでは意味がない」



議員 竹内 博士

が十分に検証できていない。必要とする人に情報が届いていないなど課題がある。

竹内 全庁統一のアンケートを作り、統計に基づいて効果を検証してはどうか。

市長 今後の行財政運営において重要かつ有用であると考え。全庁的な共通ルールを検討する。

市長 目的や対象者

亀岡の森林ほったらかし！若者を取り込んだ組織づくり急務

竹内 「亀岡市の森林はあと10年で被害がひどくなるのにほったらかし」との声もある。山林活動に若い市民を取り込んだプラットフォームづくりに着手するべきではないか。

産業観光部長 林業専門人材の育成と担い手支援対策に重点を置き、将来を見据えた組織体制を構築しながら各種事業を推進していきたい。
市長 多様な人材を活用し、ソフト面を充実させていきたい。

国道9号ダブルルート化と渋滞緩和策は



議員 木村 勲

木村 ①新たな要望内容に変更するの。

②亀岡側と京都側の具体的なルートは。③京都縦貫自動車道の篠ICから沓掛IC間の料金減額を要望

望するの。

市長 ①4車線化またはダブルルート化を基本としていたが、老ノ坂峠区間のバイパス化及び市街地区間の4車線化に重点を置いた要望内容に変更する。②今後、国で適切に検討される。③料金減額の要望は含んでいない。

都市計画道路並河亀岡停車場線の交通安全対策を

木村 ①信号機の設置場所は。②信号機が設置されていない場所への対策は。③現在、横断歩道が1箇所あるが増設予定は。④通学路の安全対策は。⑤完成予定は。

まちづくり推進部長 ①府道王子並河線と市道余部並河線のと

交差点に設置する。②道路の安全対策について、京都府公安委員会と協議を進める。③現在未定。④現場確認を行い、点検の結果を基に通学路の安全対策について協議を進める。⑤公表されていないが早期完成に向けて取り組んでいる。

便利で使いやすいJR駅に



議員 三上 泉

三上 亀岡駅以北の減便解消、全駅でのICカード対応改札、改札内トイレの洋式化などは急務。実現すべきでは。また、駅前駐輪場の修繕や精算機更新の進捗状況は。

便利な移動は小型無償交通で

三上 無償バスは二種免許は不要で運転手は確保できる。移動権保障のために、市直営で小型車によるデマンド無償交通などを検討すべきでは。また、市役所やガレリアまで安心して往復できる交通手段は最優先で整備す

まちづくり推進部長 JRに継続して要望している。全駅でQRチケットの読み込み可能となった。トイレ改修を市で行うのは難しい。馬堀駅前駐輪場の精算機は今年度中に更新できるが、亀岡駅北駐輪場の改修は年度内には難しい。
市長 屋根に太陽光パネルをつける形で、緑化フェアまでには完成させたい。

乳がん早期発見への新たな選択肢
「無痛MRI乳がん検診」の導入を



山本 由美子 議員

山本 乳がん検診の受診率向上を阻む要因にマンモグラフィの痛みや精神的苦痛がある。①受診控えにより早期発見の機会を逃すことがないよう無痛・着衣で受診でき、高濃度乳房

にも有効な「無痛MRI乳がん検診」を亀岡市立病院において導入する考えは。②検診費用の負担を軽減し、受診しやすくするための助成制度は考えられないか。

市長 ①来年4月実施を目標に検討を進めるよう指示を出している。②ふるさと納税を財源に、一度半額程度補助して、状況を見ていきたい。

水道未普及地域の不安解消へ。補助金の「10年制限」を見直し柔軟に

山本 家庭用取水施設整備事業補助金は、一度利用すると10年間は再申請できない制限があり、飲用水確保への不安を招いている。制度をより利用しやすいように改善できないか。

上下水道部長 災害などの緊急時は、要綱で「市長が認めるときは補助対象者とする」ことができる」と定めており、状況に応じて柔軟に対応しているの、相談していただきたい。

市の鳥 コウノトリが舞う生物多様性のまちづくりを



菱田 光紀 議員

菱田 市の鳥に制定した理由は。

市長 環境先進都市としての歩みと、人自然、未来を育む取組を象徴する存在として制定した。コウノトリが舞い降りる未来を目指して、環境先進都市として歩みを進めていきたい。

菱田 絶滅したコウノトリが人工飼育され野生放鳥されて20年。本市ではコウノトリを守るために今後どのような取組を進めるのか。

市長 日常的に見かけるようにするためには、生物多様性に配慮した農業をより進め、水辺環境を作り出すために冬でも田に水を張り、大食漢のコウノトリが十分餌を確保できるように広い範囲で生育環境の整備が必要。

菱田 コウノトリが住むまちを実現するために市民や農業者に何ができるのか。

市長 環境への配慮や、生物が豊富に生育できる田んぼづくりに取り組んでほしい。

菱田 行政として何ができるのか。

市長 亀岡駅北のオーガニックビレッジパークに新たなビオトープを設置し、コウノトリが生息できる巣塔を建てたい。

小学6年生の修学旅行、広島への平和学習充実に向けて



浅田 晴彦 議員

浅田 平和学習の校外授業として広島県に行く前に高学年を中心に漫画「はだしのゲン」を読む機会を積極的に進めては。

教育部長 事前に子どもたちが平和の大切さを深く理解できるように取り組んでいる。議員提案の「はだしのゲン」を含め、様々な教材を組み合わせたうえで、平和学習のさらなる充実に向けていきたい。



七谷川野外活動センターに設置されている木製遊具の修繕、改修工事をして

浅田 現在、施設内で使用されている遊具の老朽化が進み、今後、使用できなくなる可能性がある。老朽化に伴う改修工事などの予定は。

教育部長 日常の点検を徹底しながら必要に応じて修繕を行ってきた。今すぐ全面的な改修工事を行う予定はないが、施設全体を見る中で優先度の高いものから順に計画的に修繕や改修を進め、維持管理に努めていく。

JR並河駅ロータリー内の安全確保を



土岐 新 議員

は必要だと考えるが誘導線を設置することではできないか。

土岐 JR並河駅ロータリー内は市道であるため、事前に公安委員会との協議

まちづくり推進部長 矢印など誘導線のみを設置であっても、公安委員会との協議が必要であるため、協議の上、設置を検討していきたい。

小・中学校の学校区について今後の方針は

土岐 家庭の事情による引越など、学校区が変わる場合、子どもへの負担も大きく、従来の学校に通いたいが、学区制であるために行きたい学校に行けないとお困りの声を聞く。本市内で学校を選択できる条件の拡充について市長の考えは。

市長 選択制を優先するということよりも

校ごとにそれぞれの特色があると、自分の選択しやすい環境ができる。今後、教職員が自分たちの学校をどのような学校にしたいか考え、その方針や方向性を明確にすることが必要である。子どもたちが自分自身のことをしっかり考え、選択の機会を与えることが大事だと考える。

ふるさと国分寺跡千年の歴史を千年先へどう届けるか



山木 裕也 議員

アを好機と捉え、案内の充実やARなど、デジタル技術を活用した体験型の学びを導入するべきではないか。

山木 丹波国分寺跡は、奈良時代に建立された巨大寺院跡であり本市における歴史の原点である。一方、全体像が分かりにくく、その価値が十分に伝わっていない。全国都市緑化フェア

生涯学習部文化芸術担当部長 整備基本計画に基づき、段階的に整備を進めている。緑化フェアではフェアスポットとして発信し、保存を前提にデジタルも含めた活用を検討する。

つつじヶ丘通学路交差点の安全確保を前へ

山木 通学路交差点の危険性を指摘し、歩車分離信号など構造的対策を要望する。

総務部長 事故リスクは認識しており、警察と連携し歩車分離信号の設置について協議を進めていく。



つつじヶ丘56号線交差点

小学6年生の修学旅行、広島への平和学習充実に向けて



浅田 晴彦 議員

浅田 平和学習の校外授業として広島県に行く前に高学年を中心に漫画「はだしのゲン」を読む機会を積極的に進めては。

教育部長 事前に子どもたちが平和の大切さを深く理解できるように取り組んでいる。議員提案の「はだしのゲン」を含め、様々な教材を組み合わせたうえで、平和学習のさらなる充実に向けていきたい。



七谷川野外活動センターに設置されている木製遊具の修繕、改修工事をして

浅田 現在、施設内で使用されている遊具の老朽化が進み、今後、使用できなくなる可能性がある。老朽化に伴う改修工事などの予定は。

教育部長 日常の点検を徹底しながら必要に応じて修繕を行ってきた。今すぐ全面的な改修工事を行う予定はないが、施設全体を見る中で優先度の高いものから順に計画的に修繕や改修を進め、維持管理に努めていく。

補聴器購入補助を早急に・寝具洗濯乾燥消毒サービスを利用しやすく



大西 陽春 議員

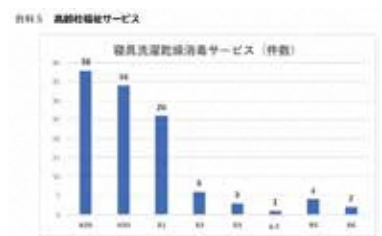
大西 市独自で補助制度を早急に実施するべきでは。

市長 令和8年度当初予算への計上を前

1箇所の共同調理の学校給食は、理想とする学校給食となるのか？

大西 公民連携方式（PPP）では、①提供されるサービスの内容②多様なニーズへの対応③管理や監督が不十分ではないか。

教育部長 財政資金の効率的使用や運営の効率化などを図るものであり、質の低下については心配ない。



高齢者福祉サービス

住民主体の移動支援事業の維持と確保策の充実を求める



富谷 加都子 議員

150人以上が利用されているため、担当課や運行主体と協議し、補助対象となる部分がないか再確認する。

富谷 交通空白地等地域生活交通事業補助金制度において交通不便地を含む地域で交通を支える団体に對して、補助対象を再検討できないか。

まちづくり推進部長 交通不便地は補助対象地域であり、

疥癬感染症対応される事業所に対して、経済負担への支援策を求める

富谷 感染対応を行っている事業所に對し、防護品など消耗品の配布、購入費補助を行う考えは。

健康福祉部長 疥癬が発生している事業

茨木市との広域観光連携に併せて湯の花温泉の活性化を



大石 慶明 議員

大石 8月に茨木市と広域観光連携を締結したことは素晴らしいと考える。これに併せて湯の花温泉のさらなる活性化にも取り組むべきでは。

市長 当市と茨木市

不登校対策にさらなる取組を

大石 不登校児童生徒が全国で35万人を超えた。児童生徒に寄り添った対策が必要であり、特に学習意欲がある子どもをフォローすることが重要であると考え、これに取り組む考えは。

教育長 不登校児童生徒の居場所を2か所開設しているが、

今後はJR駅などの近くに開設し通いやすい受入体制の整備を検討する。また、学校の別室など支援などを行う場所も含め充実させる必要があると考えている。

千代川駅前駐輪場の有効活用を！



松山 雅行 議員

松山 空きスペースを活用し、図書機能を整備することで、結果的に世代間・地域間の交流が生まれ、と考えるがどうか。

北陸新幹線ルートの再検証へ！

松山 基幹交通整備協議会の会長として、維新・自民の与党プロジェクトチーム（PT）でルートの再検証が行われようとしていることへの所見は。

市長 小浜京都ルートを否定しているわけではないが、国において、新たに8

市長 駅周辺は人が集まるエリアであり、JR亀岡駅ではスタジアムの中にKIRINO KOがあり、子育て世代が集える大変有意義な場所となっている。今後、JR千代川駅の駐輪場活用について議論し、スペースをどのような形で有効活用できるか検討していく。

市制施行70周年を踏まえて、大合併の経緯を知ることが大切



福井 英昭 議員

福井 昭和30年から34年にかけて、全国でも稀な1町17か村におよぶ大合併を成し遂げた経緯は。

市長 戦後の日本では、各自自治体の財政が厳しい中、国が合併を勧め、昭和28年

以来、南桑田郡でも全村合併の議論が始まった。中学校ブロックで4つに分けて合併する案やその他の案もあったようである。

福井 合併に際して各村ではどのような経過があったのか。

市長 篠村は京都市

福井 先人の努力や思いを胸に、私達はまちづくりを進めていきましよう。

英国王室に一緒に保津川下りしませんか再度子どもたちが夢の挑戦を



西口 純生 議員

西口 以前、保津川開削400年を記念し、子どもたちが英国王室に「私たちが保津川下りをしませんか」と手紙を送ったが、その時は実現することができなかった。このたび20年ぶりに英国王室へ手紙を送ることになった。子どもたちの夢を叶えるために市長の知恵を借りることはできないか。

市長 来年開催の全国都市緑化フェアin京都丹波では、亀岡運動公園のメインガーデンを英国王立園芸協会主催のチエルシーフラワー

の両市を周遊するツアーの造成を協議するとともに道路整備についても京都府、大阪府に要望していく。湯の花温泉活性化については、今年度に「ゆあみのさと」構想検討委員会を設立したところであり、活性化のための具体的な策提案を検討し魅力的な温泉郷となるよう計画策定していく。

2月議会の予定

2月9日 本会議など

3月議会の予定

2月20日 本会議（議案提案）
3月3日 本会議（代表質問）
3月4日 本会議（代表・一般質問）

5日 本会議（一般質問）
6日 本会議（一般質問）
追加議案
予算特別委員会

9日 各常任委員会
10日 各常任委員会
11日 各常任委員会
12日 本会議（議案採決）

16日 予算特別委員会
17日 委員会予備日
18日 議会運営委員会
19日 予算特別委員会
20日 各常任委員会
21日 本会議（議案採決）

24日 委員会予備日
25日 議会運営委員会
26日 予算特別委員会
27日 各常任委員会
28日 本会議（議案採決）

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催については、随時ホームページに掲載します。

市民の声

亀岡市が子育て世代に力を入れ、住みやすいまちになっていることは大変喜ばしく感じています。その一方で、これまで亀岡を支えてこられた高齢者の方々にも、少し目を向けていただきたいなと感じました。



議会モニター
中山 友加里さん

本会議を傍聴して

モニターへ資料を映し出す際、傍聴席にもモニター設置されているとよりよい傍聴ができるのではないかと思います。また、用意されている定例会資料については受付後、QR読取で資料の確認ができるようペーパーレスにつなげてみてはいかがでしょうか。



議会モニター
平野 愛さん

本会議への傍聴をさせていただきました。一般質問の中で議場のモニター



12月議会を終えて

次代を担う世代とともに 未来を描く責任を実感

令和7年12月議会では、今年最後の補正予算をはじめ、亀岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例の制定やかめおか防災広場設置条例の制定など、生活に密着した議案について審議し採択されました。市民の目線に立った丁寧な議論が展開できたことは、大きな意義があると感じております。

今年は、市制施行70周年という節目の年であり、これまでの歩みに対して深い敬意を表すとともに、次世代を担う若い世代とともに未来を描く責任を改めて実感いたしました。

亀岡市議会におきましても、これからの亀岡のまちづくり、に積極的に取り組み、市民の皆様との対話を大切にしながら、信頼される議会運営に努めてまいります。

副議長 大塚 建彦

編集後記

いつも亀岡市議会だよりをご愛読いただきありがとうございます。今年度は、街頭インタビュや子ども議場見学会、わがまちトーク（4団体）を実施しました。わがまちトークでは、トーク前にアイスブレイクを取り入れて和やかな雰囲気の中で意見交換を行っていただきました。今後も亀岡市議会だよりについて、市民の皆様に興味を持っていただき、多くの方々にお読みいただけるよう、さらに内容を充実させた議会だよりの発行に努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

広報広聴会議委員長

木村 勲

新体制での一年を振り返り

委員からひと言

広報部会

議員になって11年。広報一筋でした。弛みない改革の足あとをみることができますが、まだまだ進化の途上です。今後も頑張ります。〈三上広報部会長〉

『伝えた』と『伝わった』は違うことを感じつつ、少しでも議会の『今』が『伝わる』ように、試行錯誤、日進月歩、頑張ります！〈竹内広報副部会長〉



梅本 靖博委員

竹内 博士委員

三上 泉委員

小林 仁委員

多くの市民の皆さんに手に取ってもらえるようにと、編集に携わってきました。議会だよりが、亀岡市議会に関心を持っていただけるきっかけになれば幸いです。〈梅本委員〉

議会だよりが心に残り、議会傍聴に来てくださるよう前進ある活動に努めます。〈小林委員〉